

三条教区通信

第 55 号

発行日 2012年1月1日
 発行者 三条教務所長 鷲尾 幸雄
 発行所 真宗大谷派三条教務所
 〒955-0071 三条市本町 2-1-57
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
 URL: <http://www.gobosama.net>

★本通信は上記 URL からご覧いただけます。

今月の法語

〔法語カレンダーより〕

せっしゅ しんこう
 摂取の心光

しょうご
 つねに照護したもう

『教行信証』『行巻』正信偈 真宗聖典 204 頁

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の御正当年ということで、真宗本廟での御遠忌法要が厳修され、参詣のご縁を得られた方も多かったのではないかと存じます。その御遠忌法要直前の3月 11 日に発生した「東日本大震災」によりまして、私ども真宗門徒の日常生活の有り様、生き方が厳しく問い返されました。殊に人知を過信した人災であると指摘される福島原子力発電所の事故は、原子力への依存を自明のこととしていた私どもの生活が、いかに危ういものであったかを浮き彫りにしました。

宗祖のご生涯は、政治的動乱や天変地異、地震や飢饉・疫病などによって多くの人々が亡くなっているなか、流罪を機に「愚禿」と名告られ、存在の大地、「愚禿」の大地に帰り続け、全ての人々が共に救われる本願成就の念仏の一道を生ききられた九十年でございました。今こそ、「親鸞におきては、ただ念仏して、弥陀にたすけられまいらすべしと、よきひとのおおせをかぶりて、信ずるほかに別の子細なきなり」と言い切られた宗祖のご生涯と教えを、わが身にいただき直すべき時機(とき)であると存じます。

本年は教区御遠忌をいかにお迎えするのかを明らかにする年となろうかと存じますので、皆様方のお力をいただきながら、共に賜わった御いのちを大切に、

念仏の同行として歩ませていただきたく何卒よろしく
 お願い申し上げます。

2012年1月1日

三条教務所長 鷲尾幸雄

東北地方太平洋沖地震三条教区救援金

皆様にご協力いただいております救援金は、2011年 12 月 28 日現在、12,007,136 円となりました。

ご報告いたしますとともに、お見舞いとご協力の御礼を申し上げます。

研修会のご案内

■ 第3回 KANGYO primary school

～1から学ぶ王舎城～

開催案内同封

- ◆日時 2012年2月15日(水)14:00～17:00
- ◆会場 三条教区同朋会館
- ◆講師 渡邊 学氏(23組 明正寺住職)
- ◆内容 王舎城の悲劇
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 「差別と真宗」基礎講座(15組)

開催案内後送

- ◆日時 2012年2月17日(金)
- ◆会場 三条教区同朋会館
- ◆講師 中島義紘氏
(11組願興寺衆徒・元県立高校教諭)
- ◆その他 教師陸補に必要な受講証発行
- ◆問合せ 三条教務所(担当:史陀・藤波)

■ 教学研究会

開催案内後送

- ◆日時 2012年3月6日(火)～7日(水)
- ◆会場 三条教区同朋会館
- ◆講師 三木彰円氏(大谷大学准教授)
- ◆内容 『教行信証』『信巻』
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:森)



■ 教区推進員前期教習

開催案内同封

- ◆日時 2012年3月10日(土)～11日(日)
- ◆会場 三条教区同朋会館
- ◆講師 巨谷 学氏(10組善了寺住職)
- ◆参加費 5,000円(宿泊費・食費含む)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:森)

■ 児連指導者研修会

開催案内同封

- ◆日時 2012年3月8日(木)～3月9日(金)
- ◆会場 子どもの文化研究所(東京都)
- ◆講師 子どもの文化研究所スタッフ
- ◆内容 紙芝居師に学ぶ
- ◆参加費 20,000円(交通費・宿泊費含む)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 教区坊守研修会

開催案内同封

- ◆日時 2012年3月9日(金)
- ◆会場 三条教区同朋会館
- ◆講師 一樂 真氏(大谷大学教授)
- ◆テーマ 「寺をひらく わたしをひらく
—ともに聞こう 語ろう—」
- ◆参加費 2,000円(昼食代含む)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:史陀)

■ 全戦争犠牲者追弔法会

開催案内後送

- ◆日時 2012年3月18日(日)15:30
- ◆会場 三条別院
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 教区女性研修会

開催案内後送

- ◆日時 2012年3月22日(木)
- ◆会場 三条教区同朋会館
- ◆講師 四衢 亮氏(高山教区 不遠寺住職)
- ◆テーマ 「韋提希に学ぶ
—思いを超えた現実と観無量寿経の救い—」
- ◆問合せ 三条教務所(担当:史陀)

教化委員会からのお知らせ

■ 秋安居報告



去る12月13、14日の2日間にわたり教区同朋会館において、本山安居本講講者であります大谷大学名誉教授の名畑崇氏をお迎えいたし、本講に同じく『教行信証』成立の背景—顕浄土方便化身土文類私考—のテーマのもとにご講義をいただきました。

氏はまず、化身土巻が撰述された意図、ひいては教行信証の成立の背景を考える手がかりとして、真宗念仏の証道—三願転入—

冥衆護持・精気増長—『大集経』掲出の意図—
経道滅尽—『末法灯明記』掲出の意図—
本願毀滅のともがら—「延暦寺大衆解」—
入涅槃門—隆寛と聖覚—
念仏亡国説批判—和讃の撰述—

の6つを挙げて、これらの事柄から浮かび上がってくるものは、どこまでも選択本願を疑い、誹謗を断たない顕密仏教の学匠や朝廷の官人に改悔をうながさんがためであり、また専修念仏のともがらにおいても法然上人が明らかにされた専修念仏の教えを正しく受け取ってほしいという願いであり、そしてそのような現実の娑婆の中で起こる様々な疑謗や非難と対話しながら信を確認し深めていかれたのが教行信証という仕事であったのでしょ。とむすばれました。

池田 陽 [教学研究部部門]

■ 仏青ボウリング報告

去る12月19日、毎年恒例の仏青ボウリングが開催され、若手を中心とした20名の参加者があった。懇親会費半額をかけたチーム対抗戦と豪華商品かけた個人戦。個人戦では18組西源寺の楠無量さんがアベレージ160の実力を見せつけダントツの優勝となった。前回大会の覇者、11組西妙寺の鎌倉慧吾さんは今シーズン不調でベスト3入りもできず、悔しい表情を見せていた。



その後、海鮮居酒屋どんとで懇親会があり、仏青OBの大先輩方にもご参加いただいた。近年の仏青は世代も若くなり、20代～30代前半のメンバーが多い中、先輩方との交流は大変貴重な場である。今まで先輩方が三条教区の仏青を背負ってこられた歴史があるからこそ、今の仏青がある。過去から現在へ受け継がれてきた「仏青」を、次は僕たちが未来へバトンタッチしていかなければならない。大先輩方の背中を見つつ、対話の中で今の「仏青」というものをしっかりと歩んでいきたい。

貴重な時間をありがとうございました。

三条教務所 五辻広大

教務所からのお知らせ

慶 弔

生前のご苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

氏名	組	寺院名	役職	死亡日
佐々木了龍	23	福明寺	前住職	1月2日
齋藤アイ	佐渡	浄賢寺	坊守	8月8日
荒瀬原京子	15	蓮照寺	坊守	8月9日
鷹雄公任	14	佛願寺	住職	8月31日
榎並尊雄	10	善勝寺	住職	9月15日
堀 マツ	19	高陰寺	前坊守	10月22日
渡邊智昭	14	正得寺	住職	10月23日
江部久枝	15	専照寺	前坊守	11月4日
佐々木章子	10	光圓寺	前坊守	11月5日
青木彬樹	20	法傳寺	住職	11月5日
井上 満	10	受徳寺	坊守	12月11日

2011年7月21日～2011年12月20日死亡届受付分
(役職名は届出時のもの)

住職任命者

氏名	組	寺院名	任命日
井上恒康	10	浄願寺	10月28日

2011年8月～2011年12月任命

得度式受式者

氏名	組	所属寺	得度月
藤島大貴	14	敬光寺	8月4日
高藤 透	14	念覺寺	8月4日
金子 仁	15	浄照寺	8月4日
池田直樹	17	専福寺	8月4日
多田輝真	20	照覺寺	8月4日
安藤晃寿	21	勝樂寺	8月4日
齋藤恵俊	23	廣泰寺	8月4日
佐藤幸子	23	明正寺	8月4日
武田晃大	23	無爲信寺	8月4日
銀田光寿	15	光徳寺	8月4日
金子 岳	15	浄照寺	8月4日

多田登志美	20	照覺寺	8月4日
田中 修	11	照覺寺	8月7日
関 俊雄	19	了專寺	8月7日
佐々木 紀	23	安樂寺	8月7日
川上笙舞	13	託善寺	10月7日
山本康晴	20	本慶寺	11月7日
吉川利三	20	通心寺	11月7日
木村仁徳	22	安入寺	11月7日
加藤一絵	22	善良寺	11月7日
卜部艶子	佐渡	永宮寺	11月7日
岡田 隆	佐渡	立蓮寺	11月7日

2011年8月～2011年12月受式者

◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が1951年11月よりラジオ伝道として放送している「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きいただけます。

○テーマ 「今、いのちがあなたを生きている」

○講師 1/1～1/7 安原 晃氏(三条教区)

1/8～1/28 名畑 格氏(北海道教区)

(変更になる場合があります)

○放送局 BSN新潟放送

*新潟県全域をカバー

・小出エリア 1026KHz

・中越エリア 1062KHz

・下越エリア 1116KHz

・塩沢エリア 1485KHz

・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日午前5:00～5:10

○提供 吉運堂 様

◎教区行事予定表

2012年	
1/1(日) 00:00	三条別院修正会
1/6(金)	教務所事務始め
1/17(火) 14:00	企画委員会
1/19(木) 15:00	同朋の会教導連絡協議会総会
1/30(月)	園長設置者研修会
1/31(火)	教区御遠忌検討委員会
2/9(木)	組門徒会員選定期間終了
2/15(水)	KANGYO primary school
2/17(金)	15組「差別と真宗」基礎講座
2/24(金)	企画委員会
2/25(土)	～26日 真宗学院一泊研修会 保育講習会
3/6(火)	～7日 教学研究会

3/8(木)	～9日 児童指導者研修会
3/9(金)	教区坊守研修会 組門徒会員任期満了
3/10(土)	～11日 教区推進員前期教習 ～26日 教区門徒会員選定期間
3/14(水)	KANGYO primary school
3/18(日)	全戦争犠牲者追弔法会
3/26(月)14:00	企画委員会
3/31(土)	教区門徒会員・教区監事(常任委員 会選出)任期満了
4/11(水)	～25日 参議会議員選挙(教区門徒 会開催)
4/24(火)14:00	企画委員会
4/30(月)	参議会議員任期満了
5/9(水)14:00	企画委員会
5/15(火)	三条祭(別院周辺交通規制あり)
5/25(金)	新潟地区坊守研修会
6/1(金)	長岡地区坊守研修会
6/2(土)	保育大会
6/8(金)14:00	企画委員会
6/20(水)	～21日 東北連区坊守研修会

*行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変更される場合があります。

所員のつばやき ～藤波法英～

▼冬になると、私の住んでいる寺の周りの田畑に白鳥が飛来してくる。毎年、12月から3月にかけての昼間など、ほんの2,300メートル離れた田んぼに白鳥達が群れをなして降りたち、落穂や雑草を探し当てては啄ばんでいる姿を見る事ができる▼そのような光景は、新潟の、特に平野部に住んでいる人にとってはあたりまえの光景なのかもしれないが、他県の人にそのような冬景色を紹介してみたところ「さぞかし美しかろうねえ。」と大変尊ばれた▼不思議なもので、そのような反応を聞くと、今まであたりまえだと思っていた渡り鳥の姿が貴重なものに思えてくるものである。さらに、「こんな何もない田舎・・・」などとも思っていた私の心に変化を与え、自分の生まれ育った土地を少しく見直したことであった▼ところで、冬の渡り鳥といえば白鳥だけではない。白鳥の飛んでくる地域には同時に野鴨が飛んでくる。鴨は夜行性の鳥で、昼間は池や沼で寝ているためにあまり姿が見えないが、夜半から明け方にかけての時間帯には餌を啄ばみに我が家の近くまで飛んでくる▼そこでは鴨猟が行われていて、今がその最盛期である。寒い冬を乗り越えるために蓄えられた脂ののった鴨の肉は、新潟を代表する冬の味覚の一つだといえよう▼私の寺の近くには獲れた鴨を絞め、精肉するためのほったて小屋が何軒かある。言うまで

もなく手作業で鴨を絞め、毛をむしる。生活の助けになるとは言え、つらい仕事なのだと言った農家の女性から教わった▼野やまに、ししをかり、とりをとって、いのちをつぐともがらも(真宗聖典 634)と、深い命の連帯を「そくばくの業をもちける身」として生きる人の生活の中に見出された親鸞聖人のまなざしとは如何なるものであったかと考えさせられる。

新潟親鸞学会からのお知らせ

特別講座のご案内

共催 真宗教団連合新潟県支部・新潟親鸞学会

【日時】2012年(平成24年)2月16日(木)

13:30～16:30

【日程】受付 13:00 開会式 13:30

講演 13:40 質疑応答 15:10

閉会式 16:20 散会 16:30 懇親会 18:00

【場所】新潟グランドホテル

TEL025-228-6111(代表)

〒951-8052

新潟市中央区下大川前通3ノ町 2230 番地

【聴講者】真宗教団連合新潟県支部会員

および新潟親鸞学会会員

【聴講料】無料(定員100名)

【講題】「僧侶は誰がために、寺院は何かのために

— 弥彦神社本地仏 阿弥陀如来像

焼却阻止行動から、今、何を学ぶべきか—」

【講師】奈倉哲三先生

<講師プロフィール>

1944年、東京のご出身 東京都立大学人文科学研究科史学専攻[日本史]博士課程修了 文学博士 現在、跡見学園女子大学文学部教授 同大学文学部長兼大学院人文科学研究科長

著書に『真宗信仰の思想史的研究—越後蒲原門徒の行動と足跡』『幕末民衆文化異聞—真宗門徒の四季』ほか多くの著書・共著があります。(新潟親鸞学会会員)

※当日講演終了後、同グランドホテルにて懇親会を開きます。(会費5,000円)

参加希望の方は平成24年1月末日までに下記事務局へハガキでお申し込み下さい。

新潟親鸞学会事務局 富沢慶栄

【親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局/超願寺内(〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 ☎025-222-2820

新潟親鸞学会デスク(ブログ):

<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

三条仏青有志会ボランティア

福島からのお礼状

去る2011年10月13～14日、「差別と真宗」交流学習会2(「差別と真宗」共学研修会部門)開催の折、三条教区仏青有志会の呼びかけにより教区の有縁の方々から寄せられました支援物資(ペットボトル水、野菜、お米、手作りの梅干、生活用品等)をバスに積み込み、学習会会場である福島県二本松市の真宗大谷派眞行寺様にお届けしてまいりました。

このたび、眞行寺様から、眞行寺様を通じて物資を受け取られた方々の声を含めて、お礼状を頂きましたので、皆さまにご披露させていただきます。

また、この場をお借りしまして、ご協力いただきました皆さまに御礼を申し上げますとともに、今後とも更なるご支援・ご協力をお願いいたします。

三条教務所

福島県二本松市眞行寺の佐々木です。

「差別と真宗」交流学習会Ⅱでは、新潟からわざわざ足を運んでいただきありがとうございました。久しぶりに有志会の方々や教務所、寺院のみなさんのお顔を拝見できとても楽しい2日間でした。

新潟から届けていただいたお米、野菜、水、梅干し、果物、お酒……などなど、小さい子供のいるご家庭を中心に、100軒以上の方にお配りすることができました。みなさん大変喜ばれ、ありがたがっていらっしかったです。

相次ぐ米や野菜の出荷停止や、大丈夫だと思って食べていた食品からの放射性物質検出に、二本松に暮らす人間、特に小さい子を持つ家庭では、子供たちに何を食べさせたら良いかと、誰もが日々悩みながら暮らしています。今回の様な支援は今の私達にとって一番ありがたい、うれしい支援でした。

そして、物だけでなく“あたたかい心”の支援を頂戴したことで、ひとりひとりがとても勇気づけられ、これからの一歩を踏み出す力が生まれたと思います。

本当にありがとうございました。

物資をお配りした御家庭から届いた、お礼の手紙を以下にまとめてみました。

ご一読頂ければ幸いです。

お寒くなります故、お体ご自愛くださいませ。

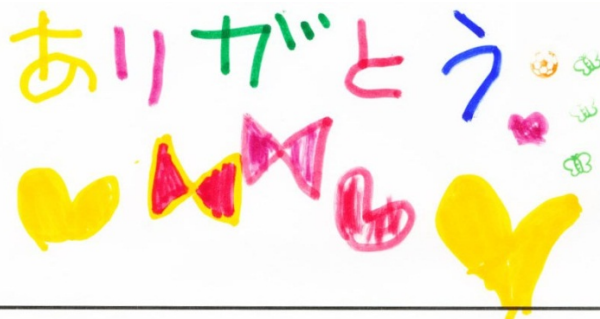
合掌

真宗大谷派眞行寺 佐々木るり

[以下は他の方々からのお礼の手紙の抜粋です]

一歳の息子に初めて梅干しを食べさせました。幼

稚園に通っている娘には弁当に新米のおにぎりを持たせました。息子の梅干しを食べたときの顔!!作って下さったおばあちゃんたちに見せたかったです。娘は毎日おにぎりにしてとせがんでいます。感謝しながら大切に大切に頂きます。本当にありがとうございました。



新潟の寺院御門徒の皆様へ

迷わず野菜を手にしたのは、いつぶりだろうか……。

本当に涙がとまりませんでした。子供にたーくさん食べなよと笑顔で言ったのはいつぶりだろうか……。本当に笑顔でいっぱい食卓でした。(#.:#)

感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。

「なるべく福島から離れた産地の野菜を……」と最近では地元の野菜の倍も値段の高いものを購入し、子供たちに食べさせていました。震災以降、“陸の孤島”になってしまった福島にいる私たちにとって今回の、たくさんの御支援は思いやりとあたたかい命を分けていただいたようなものです。本当にありがとうございました。毎日、分けていただいたお米、お野菜、お水を少しずつ子供たちと一緒にありがたくいただいています。「これは新潟ってところのお野菜なんだね」と言いながら食事をしている子供たちにとって、これから先ず一つと忘れられない思い出になることと思います。本当にありがとうございました。(^-0^-)

ありがとうございました。子供たちに野菜でスープをつくり新米でごはんをたいて食べさせました。

みんなニコニコ顔で、見ていたら涙がでました。

私達を応援してくれている人がいる事を忘れないで、また頑張って生きていかなければ……と思います。

本当にありがとうございました。



このお礼状(全文)は三条教区ねっとでご覧頂けます
<http://gobosama.net/jimukyoku/shingyojisama.pdf>